

臨床研究

当院における関節リウマチ・膠原病疾患患者の COVID-19 の特徴について

- 1.本研究の目的および意義：本研究は COVID-19 に罹患した患者の中で、関節リウマチ・膠原病疾患の方とそれ以外の疾患の方を比較して、関節リウマチ・膠原病疾患が COVID-19 に経過にどのような影響を与えるか調べる研究です。研究成果は COVID-19 に罹患した関節リウマチ・膠原病疾患の方の治療の参考になると思われます。
- 2.研究の対象者：本研究の対象者は 2022 年 1 月 1 日から 2022 年 8 月 31 日まで当院で入院加療をおこなった COVID-19 の方です。
- 4.研究方法：カルテを用いた後ろ向き研究です。カルテより入院期間、COVID-19 以外の併存疾患、使用薬剤などの情報を取得して、関節リウマチ・膠原病疾患の方とそれ以外の疾患の方を比較します。
- 5.研究に関する利益と予測される負担、不利益、健康被害が発生した場合の対応：
本研究はカルテをもちいた後ろ向き研究ですので、本研究による患者への利益、負担、不利益、健康被害は発生しません。
- 6.研究の参加と撤回：本研究では患者負担は発生しません。また個人が特定できるような情報は取り扱いません。研究に参加、不参加は個人の自由です。それによって不利益をうけることはありません。研究に対して、参加を希望されない場合は、研究担当者までご連絡ください。

7.個人情報の取り扱い：情報を集めたファイルは、外部と遮断された済生会唐津病院のコンピューター内に保管されます。ファイルにはIDは含まれていません。IDと識別番号の関係表は紙媒体に印刷され、研究担当者の部屋の鍵のかかる引き出しに保管されます。研究期間が終了すれば、ファイルや関係表は削除廃棄されます。

8.本研究に関する相談窓口：

主任研究員：済生会唐津病院副院長 千布 裕

Tel：0955-73-3175 FAX:0955-73-5760